



SCB

ニュース&トピックス

No.2024-143

(2025.2.5)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 西 俊樹

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

データで読み解くこれからの信用金庫経営 (46) 担保別貸出金の動向

ー構成比では不動産担保が最も高く、次いで保証協会・信用保険、信用と続くー

ポイント

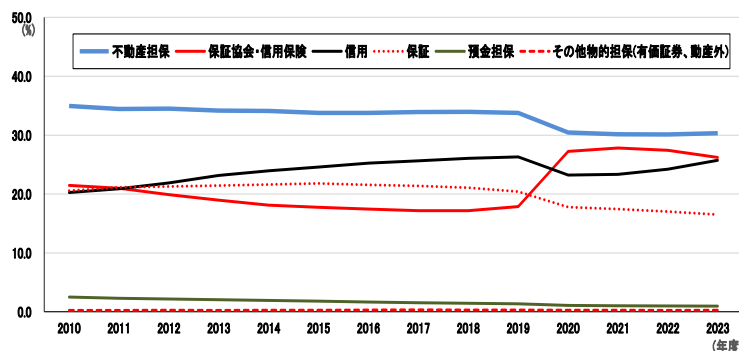
- 全国信用金庫における担保別貸出金の残高ベースでの構成比の推移をみると、一貫して不動産担保が高い傾向にある。次いで信用が上昇傾向にあったが、コロナ禍において保証協会・信用保険が大きく上昇したこともあり、足元では同水準となっている。
- 国内銀行では、信用金庫と異なり、信用が過半を占めており、次いで保証、不動産担保の順となっている。
- 信用金庫別に、2期間比較(2019年度と2023年度)で担保別貸出金のうち不動産担保および保証協会・信用保険の構成比の動きを確認したところ、上昇224金庫、低下30金庫と、上昇金庫が多くなっている。

1. 担保別貸出金構成比(全国)の状況

中小企業向け融資において担保・保証に過度に依存しない融資や経営者保証の見直しが求められるなか、本稿では担保別貸出金の残高ベースでの構成比の状況を取り上げる。

全国信用金庫における2010年度以降の担保別貸出金構成比の推移を確認する(図表1)。一貫して不動産担保が高い傾向にある。次いで信用が上昇傾向であったが、コロナ禍において保証協会・信用保険が大きく上昇したこともあり、足元では同水準となっている。

(図表1) 担保別貸出金構成比(全国)の状況

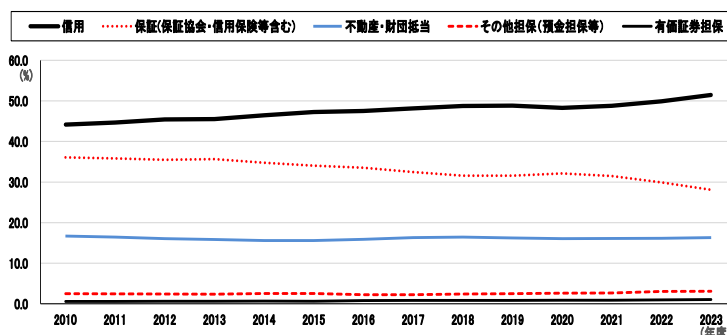


(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 国内銀行の状況

国内銀行における2010年度以降の担保別貸出金構成比の推移を確認する(図表2)。国内銀行では、信用金庫と異なり、信用が過半を占めており、次いで保証、不動産担保の順となっている。

(図表2) 担保別貸出金構成比(国内銀行)の状況



(備考) 日本銀行「貸出金の担保内訳」より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 信用金庫別の状況

足元において信用金庫が徴求する担保・保証としては、不動産担保、保証協会・信用保険が大半を占めている。本稿では、信用金庫別に、過去5年間(2019～2023 年度)において、不動産担保および保証協会・信用保険を合算した構成比の推移を示す(図表3)。全国平均は、2019年度の51.7%から2023年度の56.5%に4.8ポイント上昇した。信用金庫別の推移状況を見ると、2019年度は図表3の凡例5区分のうち40.0～50.0%の信用金庫数が最も多く、2023年度においても同様であった。また、2期間比較(2019年度と2023年度)で担保別貸出金のうち不動産担保および保証協会・信用保険の構成比の動きを確認したところ、上昇224金庫、低下30金庫と、上昇金庫が多くなっている。

一方で、2022年度から2023年度への変化をみると、60.0～70.0%の信用金庫数が減少し、50.0～60.0%および40.0～50.0%の区分の信用金庫数がいずれも増加するなど、足元では低下傾向になっていることが窺える。

今般の分析の結果、信用金庫における担保別貸出金構成比では、不動産担保が最も高く、次いで保証協会・信用保険、信用の順となっている。一方で、国内銀行では信用が過半を占めている。信用金庫では、事業性評価にもとづく融資等や「経営者保証に関するガイドライン」が浸透し定着してきた。また、2022年に公表された「経営者保証改革プログラム」にもとづき、経営者保証に依存しない融資慣行の確立に向けて取組を進めている。

2024年6月に「事業性融資の推進等に関する法律」が成立し、新たな担保制度として「企業価値担保権」が創設されることになった。企業価値担保権では、有形資産に乏しいスタートアップ、経営者保証により事業承継や思い切った事業展開を躊躇している事業者等の資金調達を円滑にすることで産業全体の活性化が期待されている。

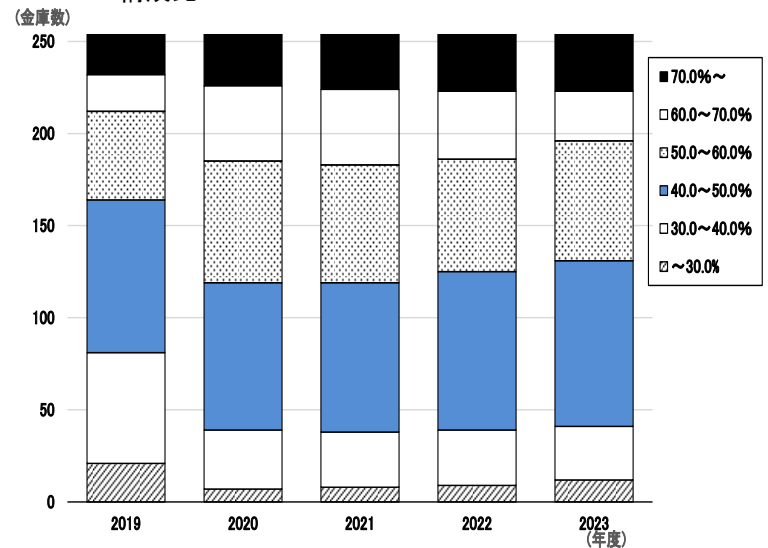
現時点では、信用金庫の取引先において、企業価値担保権の活用がどの程度見込まれるか不透明であるが、不動産担保や信用保証協会の保証への依存から、今後、事業実態や将来性に着目した融資への移行が期待できるであろう。

以上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>)に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

(図表3) 信用金庫別の不動産担保および保証協会・信用保険の構成比



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成